

2005年9月22日

地方自治法受講予定者 各位

第1回目の授業(10月3日)のために予習を求める文献を、下記の通りとする。ただし、追加の可能性はなお留保される。

太田 匡彦

記

(必ず読んでくることが求められるもの)

石川健治「自治と民主」ジュリ 1203号(2001年)61～66頁

斎藤誠「憲法と地方自治 分権と自己決定」法学教室 243号(2000年)76～80頁

木佐茂男「連邦制と地方自治をめぐる法制度と実務の比較考察」公法研究 56号(1994年)34～61頁

成田頼明「『地方の時代』における地方自治の法理と改革」(1981年=公法研究 43号)

同『地方自治の法理と改革』(1988年)23～49頁

(特に関心のある人向け)

渡辺康行「多数だけでは決めない仕組み」樋口陽一編『ホーンブック憲法(改訂版)』

(2000年)269～321頁

中川剛『地方自治制度史』(1990年)

*注意

- ・文献 から については、マスターコピーを法科大学院学習支援室に用意しているので、必要であれば利用されたい。
- ・文献 と については、東京大学に比較的多く所蔵されているので、各自で入手のこと(学習支援室にマスターコピーの用意はない)。なお、所蔵先は OPAC 等で自分で調べること。
- ・授業においてどのような質問がなされるかを予め示すことはしない。自分で何処にどのような問題が存在しているのかを考えながら、これらの文献を読むこと。
- ・上記に示された文献以外の文献を読むことは、いうまでもなく大歓迎である。